



身近な川のこと体験学習で学ぶ！

揖斐川でカワゲラウオッチング&ゴミ拾い ごみしょう 小野小140名

川の中に入りガサガサ調査を行う児童たち（揖斐川42K・第五床固工下流付近）

- 川の水生生物を調べて河川の水質を調査する「カワゲラウオッチング」が6月16日（月）、大垣市東町地先の揖斐川河畔で行われ、あずまちょう地元の小野小学校の4年生児童約140名が参加しました。これは、ふるさとの川「揖斐川」に住む生き物を探したり、川を観察したりする活動を通して、身近な川の水質や環境の現状を知り、川の保全や環境への意識を高めることを目的として、大垣市環境衛生課が毎年実施しているもので、市内の市民団体「水門川いきいきプロジェクト」の皆さんがサポート活動をされています。



子供たちが捕まえた生き物たち

- 当日は気温30℃を超える夏日となり、子供たちはタモとバケツを持ち、川の中へ入り、川岸付近でガサガサ調査を開始。石をひっくり返したり、足で川底を掘ったり、また、川岸の草むらの中にタモを突っ込んだりと自由気ままな調査です。すくい上げたタモの中に入った「スジエビ」や石に活着した「カゲロウやカワニナ」などを眺めながら、「これ何て言う名前なの？ 触っても大丈夫？」と、興味津々で現地指導者の方に確認していました。

今回、残念ながら「綺麗な水」の1つの指標である「カワゲラ」を発見することは出来ず、この地点の水質は「少し汚い川」という評価になってしまいましたが、子供たちは「みんなで川を汚さないようにしたいね！」と感じてくれたようでした。



捕まえた生き物を調査する児童たち

■ 『なぜ、こんなにゴミが捨てられているの？』

- 今回、「カワゲラウォッチング」と「ゴミ拾い」の班と2グループに分かれ、入れ替えて体験学習を行いました。子供たちは河川敷に落ちているゴミを見て「汚いな」と話し出し、周辺のゴミを拾い集めながら、「なぜ、こんなにゴミが捨てられているの？ バーベキューのゴミがいっぱい捨てられているよ！」と聞かれ、悲しい不法投棄の現状を子供たちに説明をさせていただきました。川から流れ出たゴミは海に流れ、海が汚れてしまいます。

自分が出したゴミは、自分で適切な手段のもと処理をする。それが、美しい自然環境を後世に引き継ぐために、現在を生きる私たちの使命であると考えています。



河川敷のゴミを拾い集める子供たち



■ 『川で安全に遊ぶために・・・』

出張所職員が児童に説明



細野損斐川第二出張所長

- 損斐川は、都市部に残された貴重な自然空間です。とても楽しく魅力いっぱいの河川です。川の恵みに感謝し、豊かな自然に親しむことは、心を豊かにする上でとても意義のあることだと考えています。しかし、川は学校のプールとは異なり、流れが複雑なところや急に深くなっているなど危険なところがあります。また、川の上流や近くで雨が降ると、川の水が急に増えて川の中に取り残されてしまったり流されてしまうなど、恐ろしい姿に変わることもあります。このような天気や川の流れに十分注意して安全に遊ぶようにして下さい。また、水辺での危険性についてお子様の教育のため、是非家族で一度、話し合ってみて下さい。



川の安全利用について説明する損斐川第二出張所・後藤事務係長

